

いきいき人権講座 この講座では、人権に関わる社会情勢全てについて学びます。

本日は、経済（けいざい）の分野でもひとが中心なんだよってお話をします。

講師は私、中田賞子と、日本経済を解説するヤンキーたけおと仲間たちです。



著：mihana

編集：あだん堂

発行：財研出版

漫画本 A5サイズ 144P

上原よしこ  
テニ●リを  
こよなく愛する夢女。  
夢は跡●キングダムに  
住むこと。



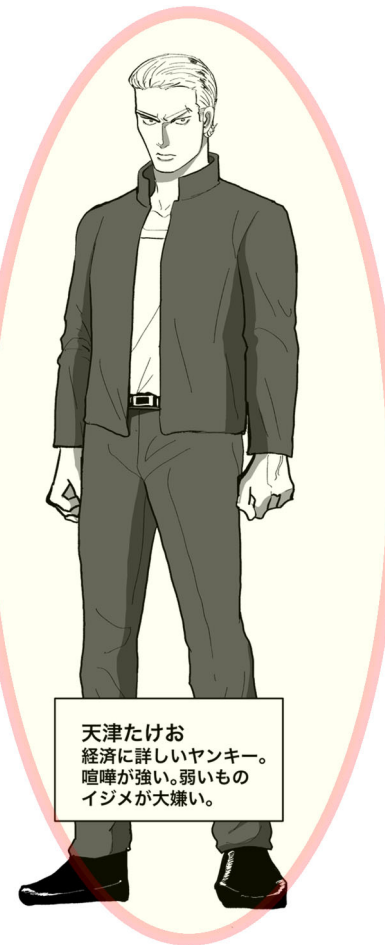
財前まもる  
たけおの幼馴染。  
元・財務省志望。  
実は家が金持ち。



神城あらた  
たけおを慕う  
心優しいヤンキー。  
姉と仲良し。



天津たけお  
経済に詳しいヤンキー。  
喧嘩が強い。弱いもの  
イジメが大嫌い。



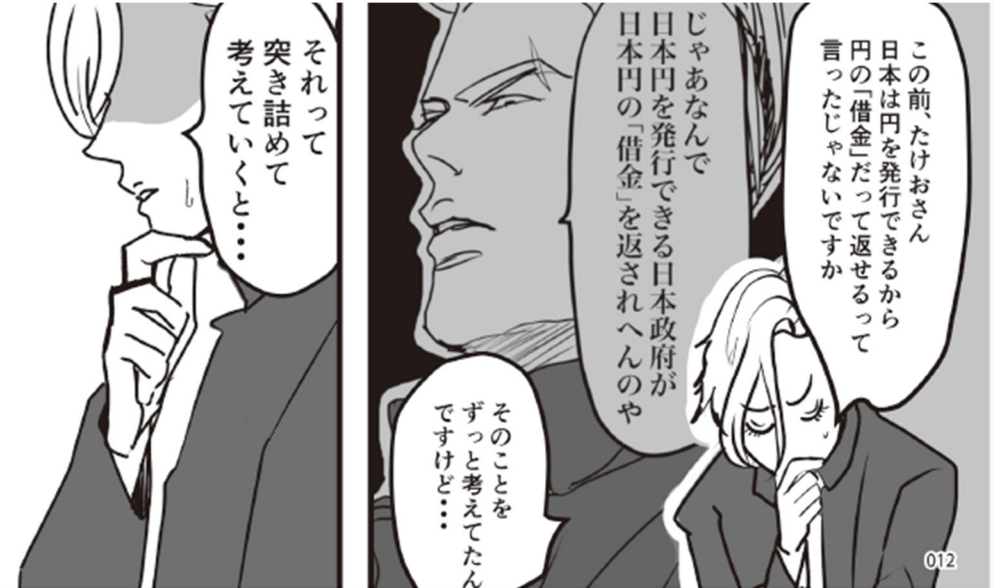
経済の中心と考えられているのは、お金です。

私たち現代人は、お金がないと生きていくのも大変です。

だけど、日本の国がお金（円）を作っています。

硬貨は日本政府が作っていますし、お札は日本銀行が作っています。

そう考えると、何だかよく分からないものに自分の身を預けているような不安な気持ちになりませんか？



でも、安心してください。

本当に大切なことはお金ではないのです。

あなたが欲しいモノやサービスを得るための一つの手段としてお金があります。

現代人は必要とするモノ・サービスを得るために働いてお金を稼いでいます。

ということは、あなたが本当に必要なのは、実はお金でなくモノ・サービスなのです！

あるいは  
知識を持った  
技術者が  
いなければ  
橋も作れない



政府が  
橋を作ったりとか  
公共事業を  
するときも  
一緒ですよ

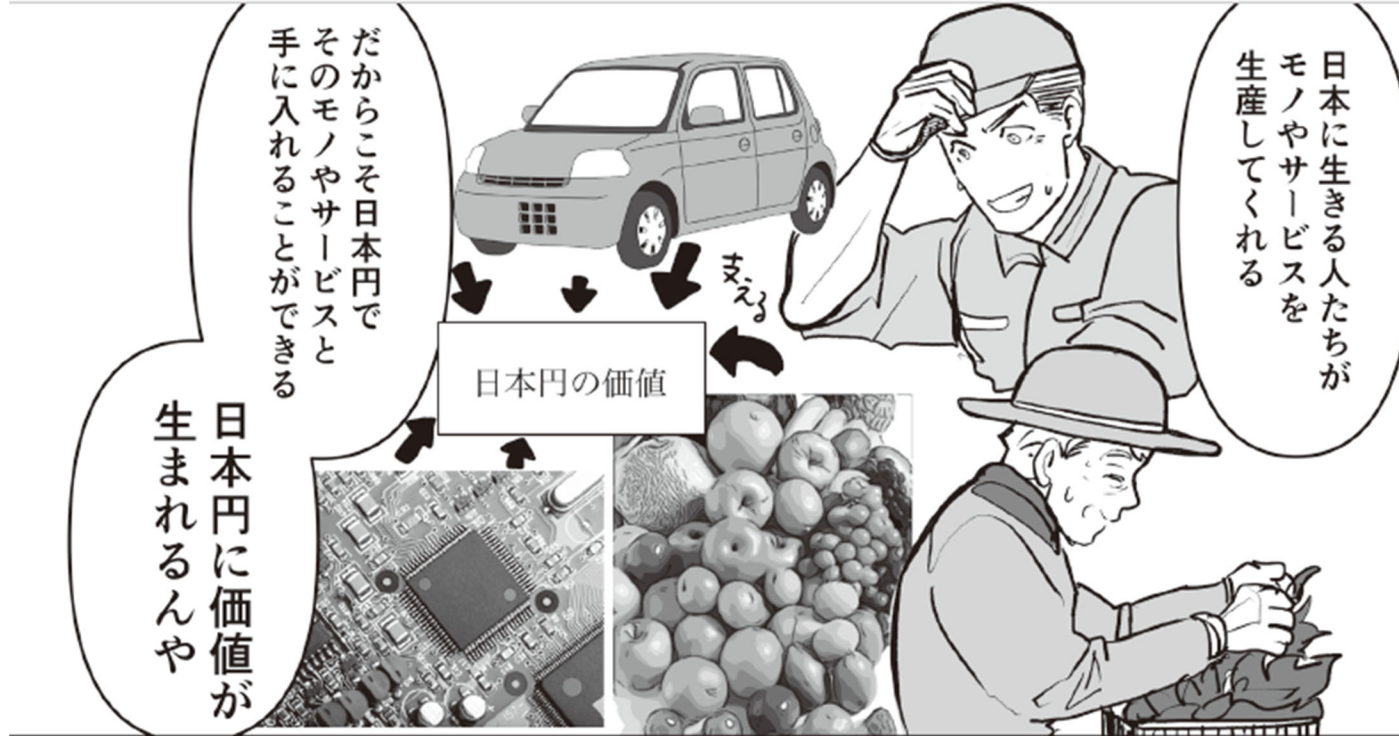


日本政府は  
お金が足りないなんて  
ことにはならないけど  
人やモノが足りないことは  
十分にありうる





あなたが欲しいモノ・サービス作っているのは??



※画像↓[https://twitter.com/soviet\\_usako/status/1483382058827223040?s=21&t=K4akBHUumAMjJfo0Pz91BQ](https://twitter.com/soviet_usako/status/1483382058827223040?s=21&t=K4akBHUumAMjJfo0Pz91BQ)



モノ・サービスを必要とし、作ってくれた人たちの生活を支えているのは？

---

日本経済を解説するヤンキー 「税金って何や」 森井じゅんさんコラムより

ところで私は、働けない状況で介助が必要な方から、生きる価値について質問されたことがあります。

昨今、地位や影響力のある人でさえ、障がい者や高齢者を“社会のお荷物、とみなすような発言をしたりするからでしょうか。

お金や生産性という物差しで、人間の価値を測るような世の中の風潮が強まっているのは、皆さんもお感じになっているところではないでしょうか。

大前提として、私たちの社会は需要と供給で成り立っています。これが相互に作用し合い、豊かさへと繋がっています。

たとえば介助が必要な人は世の中に介護という需要を生み出し、それにより供給が生まれていますよね。

つまり需要を通じて供給力アップにつながっているのです。

それは全体で見れば、自分ひとりで何でもできる人よりも社会貢献しているともいえます。

目先のお金だけを追いかけていけば見えないものは本当にたくさんあります。

つまり

ほんまに重要で限られた財源は

その国に生きる人たち

※財とはそもそもモノ・サービスという意味であり、

モノ・サービスのみなもと（源）が

「財源」 でした。

お金ではなくモノ・サービスが大切。

モノ・サービスを作り必要とする人々、

つまり、あなたが大切





つまり

国とは人（ひと）

あなたが大切にされてこそその  
国そして経済です。

人権が守られ

あなたが生き生きと

働き生活する政策こそが

国や経済を豊かなものにします。

